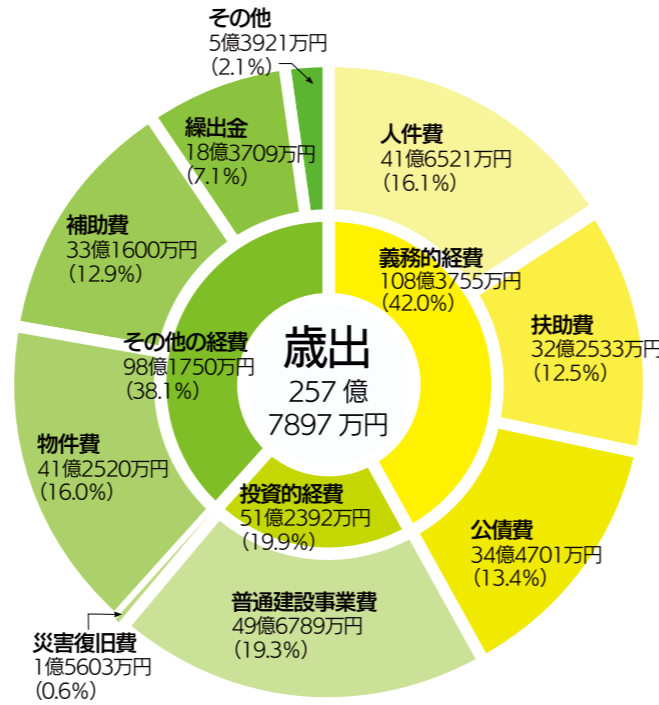


2022年度 三好市の当初予算 257億7897万円

今年の予算は257億7897万円
前年度比+5.7%となりました

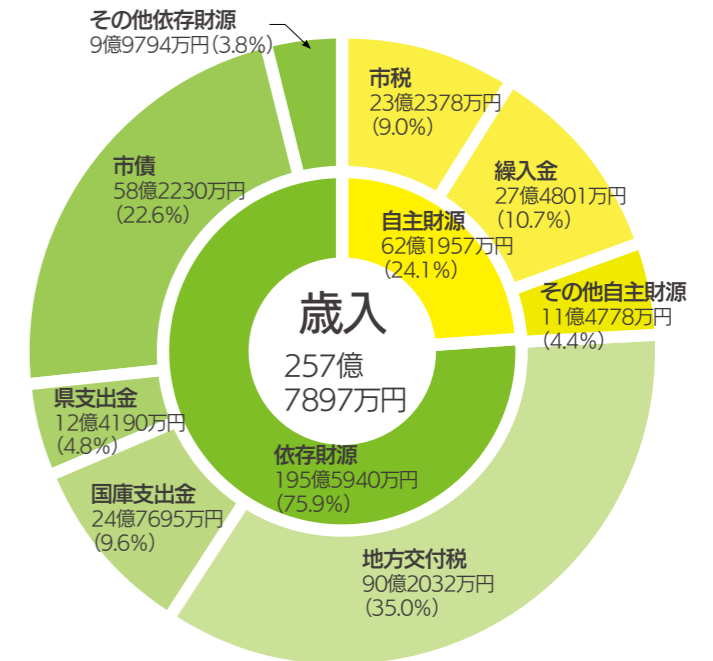


一般会計 性質別歳出



項目	予算額 (単位:万円)	対前年度比 (単位:%)
義務的経費	41億6521	-1.0
職員給与や特別職・議員の報酬などの経費	32億2533	-0.4
生活困窮者・高齢者・児童・心身障害者等に対して行っている様々な支援に対する経費	34億4701	-6.1
公債費	34億4701	-6.1
市の借金の元金・利子等を支払うための経費	49億6789	17.9
投資的経費	49億6789	17.9
道路・橋りょう・学校・庁舎等の公共用または公用施設の新増設の建設事業に必要な経費	1億5603	-54.6
災害復旧事業費	1億5603	-54.6
災害で被災した道路等を復旧するための経費	41億2520	9.7
物件費	41億2520	9.7
消耗品・光熱水費・委託料等の消費的性質をもつ経費	33億1600	28.0
補助費	33億1600	28.0
各種団体への助成金や一部事務組合への負担金等の経費	18億3709	0.0
繰入金	18億3709	0.0
特別会計の収支不足を補てんするため、一般会計から特別会計に対して支出する経費	5億3921	0.2
その他	5億3921	0.2
維持補修費・貸付金・積立金・予備費等		

一般会計 歳入



項目	予算額 (単位:万円)	対前年度比 (単位:%)
自主財源	23億2378	0.0
市税	23億2378	0.0
皆さんから納められる市民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税など (国保税は含まず)	27億4801	5.2
繰入金	27億4801	5.2
使うお金が財源よりも不足している場合に、積み立てた基金から一般会計に繰り入れるお金	11億4778	-0.4
その他自主財源	11億4778	-0.4
分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄付金、繰越金、諸収入	90億2032	-0.5
地方交付税	90億2032	-0.5
地方自治体間の財政の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスができるよう国から交付されるお金	24億7695	4.6
国庫支出金	24億7695	4.6
国の補助事業に対する国からのお金で、これに県や市のお金を合わせて各種事業が行われる	12億4190	-10.1
県支出金	12億4190	-10.1
県の補助事業に対する県からのお金で、これに市のお金を合わせて各種事業が行われる	58億2230	28.2
市債	58億2230	28.2
市が各種事業を行うために借り入れるお金	9億9794	0.7
その他依存財源	9億9794	0.7
地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金等		

各特別会計別の内訳

会計名	予算額 (単位:万円)
井内財産区	378
国保(事業)	33億6740
国保(直診)	2億5083
浄化槽事業	4億4290
農業集落排水事業	2592
土地取得事業	50
簡易水道事業	241
後期高齢者医療	5億3220
水道事業	7億4011
病院事業	10億7425

2022(令和4)年度当初予算は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、持続可能な財政構造の構築に向けて、なお一層、行財政改革を着実に推進し、将来の財政負担の抑制を図るとともに、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除し、限られた財源が地域・住民のため、効率的かつ効果的に事業執行できる予算編成に努めました。

特に本年度は、①「市民の生活と生命を守る」ことを主眼とし、新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化の両立を図りつつ、「新たな日常」の実現に取り組むとともに、防災・減災対策、住環境整備など市民の暮らしを守る施策を推進。②「第2次三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと、市の魅力や生活の満足度を高め、誰もが幸福感を感じられる地方創生の継続的な展開。③「公共施設等総合管理計画」および「公共施設再配置計画」の方針に基づき、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に進め、将来の財政負担の軽減と平準化に向けて、公共施設の最適な配置。の3点に取り組みます。

主な取り組みとして防災・減災対策では、災害時における市民への防災情報を確実かつ正確に情報伝達するため防災行政無線システム整備工事に着手します。また、災害時の拠点となる本庁舎と支所庁舎の整備を継続して行います。

子育て支援では、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目ない支援を提供する「三好市子育て世代包括支援センター」の充実、子どもはぐくみ医療助成事業、乳児の保育を家庭で行う保護者に対する補助、乳幼児の育児に必要な用品の購入補助など、子育てしやすい環境づくりを推進します。

高齢者・障害者支援では、市内全域に住む交通手段を持たない高齢者および重度の障害者などを対象とした、外出時のタクシー利用助成を継続して行い、移動手段の確保において市民の利便性を図っていきます。

新型コロナウイルス対策では、各種支援制度がスムーズに受けられるよう相談窓口を設置するとともに、中小企業への支援として、国の助成金等の支給延長にあわせ、三好市雇用維持助成金および三好市労働者支援事業給付金を支給延長し、事業者・労働者の支援を行います。また、感染拡大の影響が長期化する中で、観光産業等の地域経済の活性化を図るため、市内で宿泊される観光客に対し宿泊割引補助やクーポン券を配布するGOTO。秘境三好市トラベルキャンペーンを引き続き実施します。



井川運動公園（仮称）整備事業



GoTo 秘境三好市トラベルキャンペーン



防災行政無線システム（同報系）整備事業

防災・減災対策	防災行政無線システム（同報系）整備事業	9億5,766万円
	老朽危険空き家除却促進事業	2,089万円
	防火水槽新設事業	2,794万円
	庁舎整備事業	15億6,231万円
	支所整備事業	2億6,171万円
子育て 高齢者・障害者支援	育児用品購入費補助事業	1,008万円
	子どもはぐくみ医療費助成事業	6,546万円
	高齢者等タクシー利用助成事業	4,500万円
	山間地介護保険特別支援補助事業	3,200万円
農林業・商工業振興 雇用促進	鳥獣被害対策事業	6,417万円
	森林経営管理制度推進事業	2,203万円
	新型コロナウイルス対策補助事業（中小企業支援）	3,575万円
	新卒者等就職促進補助事業	1,200万円
観光振興	持続可能な観光地域づくりモデル市町村形成事業	8,100万円
	GoTo 秘境三好市トラベルキャンペーン	8,000万円
	黒沢湿原木道改修事業	4,419万円
教育の充実 スポーツ・文化振興	小学校特別教室空調設備設置事業	3,650万円
	井川運動公園（仮称）整備事業	2億3,673万円
	国指定文化財「小采家住宅」保存修理事業	1,072万円

ありがとう さようなら

吾橋小学校

西祖谷山村の吾橋小学校で3月20日、休校式が行われ、明治7年から続いてきた147年の長い歴史に幕を下ろしました。



卒業式で作文を発表した平石悠真さん



最後の校歌を斉唱する児童

吾橋小学校の4人の児童は休校式に当たり、「学んだこと、体験したことを大切に、それぞれの夢や目標に向かって頑張っていきたい」と、学校への想いを綴った作文を披露しました。武田真二郎校長からは、「吾橋小学校で学んだことを皆さんの根っこにして、たくましい幹から空に向かい枝を伸ばし、運動場の楠のように成長してほしい」と最後のあいさつがありました。この日、休校式の前に行われた卒業式では、最後の卒業生となった平石悠真さんが一輪車を例に、「1年生の時には乗れなかったが、6年生になると低学年に教えるように。先輩から習ったことを思い出し上手に伝えることができた。努力する大切さを学んだ」と学校生活の思い出を発表し、見守ってくれた地域の方々、育ててくれた家族、優しく、時に厳しく指導してくれた先生方に感謝の気持ちを述べました。

上名 保育所

山城の上名保育所で3月25日、閉所式が行われ、昭和33年から続いていた63年の歴史に幕を下ろしました。



閉所式を前に最後の修了式が行われ、548人目の修了児となる松原龍仁くんから「お父さん、お母さん、僕はこんなに大きくなりました。みなさん、今までありがとうございました」とあいさつがありました。退場する際には来賓・保護者・先生・子どもたち全員と熱い握手を交わしました。保護者の松原邦英さんは「上名保育所のおかげで安心して仕事に勤めることができました。ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えました。



別れのあいさつを前に整列する子どもたち

閉所式では、5人の子どもたちがクリスマス会やプールなどの楽しかった出来事を述べ、肩を並べて「たくさん楽しい思い出ができました。上名保育所のこと忘れません。ありがとうございました」と別れのあいさつをしました。岡益視保育所長からは「少人数ではありますが、子供たちは健やかに育っていきました。これからも様々な出会いとともにたくましく成長してくれることを願っています」とエールを送りました。